

次回会議に向けた今後の調査・検討項目について

1.1 調査・検討項目(第2回会議に向けて)

現況の詳細分析

- 交通流動と交通施設・公共交通サービス等の変化の関係を分析
- 拠点となる地域の交通施設整備状況の分析
- 公共交通幹線軸に対する現状のサービス水準と走行環境の分析
- 日常生活における交通の問題点（交通事故、道路渋滞、歩道・自転車道整備、等）の分析
- 交通手段別、目的別、地域別の交通流動の変化と問題点の分析
- 基本目標の達成・未達成に関わる要因の分析

市民意識調査等の実施 (アンケート調査)

- 日常的な移動状況、交通施策に対する意識・満足度等の把握
- 豊鉄東田本線（路面電車）における課題と活性化に向けた意見の把握
- バス利用者に対する利用状況と課題の把握

課題整理

- 目指す将来都市像の実現性に対する課題
- 現都市交通マスタープランにおける取組み状況に対する課題
- 都市交通施策による市民満足度の課題
- 日常生活における交通課題
- 施策を実施しない場合を想定した都市及び交通の課題

基本目標 基本方針 の検討

- 交通の視点からみた新たな目標設定の考え方
- 交通施策に関わる市全体の基本方針と、基本目標別、地域・エリア別、交通手段別などの視点からみた基本方針の設定の考え方
- 戦略的、政策的に取り組むべき施策の考え方

1.2 各種アンケート調査実施(案)

- 市民や公共交通利用者の交通実態と交通施策に対する意見、満足度等を把握し、課題分析や計画の方針検討に活用するためのアンケート調査を実施する。
- 特に豊橋市のシンボルの一つでもある豊鉄東田本線（路面電車）については、沿線地域のそれぞれの立場からの意見集約等を行う。

表 1-1 アンケート調査に実施計画概要(案)

	市民 アンケート調査	豊鉄東田本線(路面電車) 沿線地域アンケート調査	バス利用者 アンケート調査
目的	交通実態・意識と都市・地域拠点に対する交通ニーズを地域別に分析	各立場からの路面電車の活性化・魅力向上の意見・考え方を把握	バス利用実態と利用者視点のニーズを路線別に把握
対象者 調査規模	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15 歳以上の市民 ・ 約 7,000 世帯に配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿線約 500m以内を対象 ・ 沿線住民：約 2,000 世帯配布 ・ 事業所：約 300 事業所 ・ 商業施設：約 300 店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊橋駅前、台町、豊橋市民病院、二川駅、大清水駅前の 5 箇所のバス停を対象
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民全体から無作為抽出 ・ 郵送配布、郵送回収 ・ 1 世帯 4 人まで回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無作為抽出 ・ 郵送配布、郵送回収 ・ 沿線住民は世帯アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス乗降客に手渡し配布 ・ 回収は郵送 ・ 平日、休日各 1 日 ・ 調査時間帯：7～15 時
実施時期	・ 9 月中～下旬	・ 9 月中～下旬	・ 9 月中～下旬
主な設問 項目	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 日常交通実態 ➢ 道路・公共交通・自転車・徒歩交通施策に対する認識、変化、満足度 ➢ 拠点と幹線軸形成に対する意見・ニーズ、等 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 普段の使い方 ➢ 自分・地域にとっての必要性 ➢ 豊鉄東田本線(路面電車)の有無による影響意識 ➢ 現在の問題点と魅力向上策 ➢ 整備に対する地域としての支援のあり方・意向、等 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 普段の使い方 ➢ 求めるサービス水準 ➢ 現問題点と走行環境、利用環境の改善要望、等
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画マスタープラン、現都市交通マスタープランの概要を同封配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民アンケート調査対象世帯との重複を避ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域生活」バス・タクシーは対象外とする